

1. 評価結果概要表

作成日 平成22年2月8日

【評価実施概要】

事業所番号	0174300350		
法人名	医療法人社団 田中医院		
事業所名	グループホーム すずらん・らいらっく		
所在地	北海道厚岸郡厚岸町門静1丁目69番地 (電話) 0153-53-2900		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成22年2月3日	評価確定日	平成22年2月25日

【情報提供票より】(平成22年1月18日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和 (平成) 15年9月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 15人, 非常勤 1 人, 常勤換算 10人	

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋建て 造り		
	1 階建ての ~ 1 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	10,000~13,000 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	(有) 30,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	(有) / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 円 1ヶ月 40,000 円		

(4) 利用者の概要(1月18日現在)

利用者人数	18 名	男性 4 名	女性 14 名
要介護1	0 名	要介護2	2 名
要介護3	6 名	要介護4	6 名
要介護5	4 名	要支援2	
年齢	平均 86.5 歳	最低 77 歳	最高 99 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団 田中医院・町立厚岸病院・秋田歯科医院
---------	---------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

医療法人が運営しているこのホームは、建物の横に、畑や花壇、東屋が設けられ、暖かくなると花壇の手入れや畑での作業、東屋での外気浴や昼食会を行っています。利用者の身体機能を落とさないように、母体のデイケアの専門職の指導の基、レクリエーションや週1回、パワーリハビリを実施し活動的な生活を過ごして貰えるように取り組んでいます。医療の面も日曜、祭日以外は毎日、母体法人の病院の院長が往診に訪れ健康管理に努めており、医療との協力体制も築かれています。又、町の介護保険課から毎月1回、介護相談員が派遣され、利用者とコミュニケーションを取りながら意見、不安、苦情などを聞き取って戴き、サービスの質の向上に取り組んでいます。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価での改善課題はありませんでした。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 管理者、職員は自己評価及び外部評価を実施する意義を良く理解しており、自己評価は全員が時間をかけて行い、話し合いを経て作成しています。又、前回の外部評価の結果は、職員全員で話し合い具体的な改善に向けて取り組んでいます。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、年6回定期的に実施されています。主な議題については 年間行事計画 職員の体制について 避難訓練について 研修会の実施報告 夏祭りについて
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 毎月、お便りでホームでの様子や表情、行事の報告や案内をそれぞれの担当職員から近況報告しており、金銭管理についても、出納帳と領収書のコピーを添付し、詳細に報告しています。家族の来訪時には、気軽に何でも言ってもらえるような関係作りや雰囲気作りを心掛け、意見や苦情は、都度ミーティング等で話し合い運営に反映させています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域の方々からの野菜や山菜などの差し入れや気軽に来訪できるよう行事の計画を立て参加を呼び掛けています。又、小学校の運動会や保育所との交流、町の夏祭りや文化祭への参加などで地域の方々との交流が図られ、町の移動図書館の車が月2回来訪するなど町との連携や支援もなされています。

2. 評価結果（詳細）

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員全員で地域密着型サービスとしての理念を作りあげ、利用者が住み慣れた地域の中で一緒に暮らし、楽しみのある生活を送り、此処で生活して良かったと思えるような支援を心掛けている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は職員で共有できるように、利用者・職員が目につく所に掲示しており、ミーティングや申し送りにおいても、理念を再確認し、統一したケアが行えるように話し合い取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の方々からの野菜や山菜などの差し入れや気軽に来訪できるよう行事の計画を立て参加を呼び掛けている。又、小学校の運動会や保育所との交流、町の夏祭りや文化祭への参加などで地域の方々との交流が図られ、町の移動図書館の車が月2回来訪するなど町との連携や支援もなされている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、職員は自己評価及び外部評価を実施する意義を良く理解しており、自己評価は全員が時間をかけて行い、話し合いを経て作成している。又、前回の外部評価の結果は、職員全員で話し合い具体的な改善に向けて取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は年6回、定期的開催されている。メンバーは家族、町内会長、包括支援センターの職員、町の福祉課の職員及び管理者・職員で構成され、ホームの運営や取り組み状況を話し合い、そこでの意見は運営に反映され、サービス向上に活かしている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事業者は町と運営推進会議以外にも町の介護保険課から毎月1回、介護相談員が派遣され、利用者とコミュニケーションを取りながら意見、不安、苦情なども聞き取って戴き、町と連携しながらサービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を实践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、お便りでホームでの様子や表情、行事の報告や案内をそれぞれの担当職員からコメントを添えて近況報告している。又、金銭管理についても、出納帳と領収書のコピーを添付して詳細に報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の来訪時には、気軽に何でも言ってもらえるような関係作りや雰囲気作りを心掛けている。意見や苦情は、都度ミーティング等で話し合い運営に反映させている。又、運営推進会議はご家族全員に案内し外部者へ意見等を表せる事ができる機会を作っている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動や離職の際は、運営者と管理者、職員は慎重に話し合い検討を重ね、必要最小限に抑える努力をし、異動があった場合は残った馴染みの職員とのかかわりを多くし、新人研修でホームの理念や基本的な対応、利用者個々人の細かな特徴などを伝えながら関わってもらうこと等で利用者への影響を防ぐ配慮を行っている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内での研修の他、グループホーム協議会主催の研修会や交換研修への参加も積極的に行い、結果をホームでの勉強会の際に伝達講習を実施している。法人として勉強会を主催し、資格取得に向け協力的に支援している。又、定期的に自己評価シートで職員一人ひとりが自身の日々のケアの達成度を評価して、ケアを見直す機会を作っている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会を通じての相互交流や勉強会でグループホームの質の向上に取り組んでいる。又、活動を通じての意見交換を行い、相互の関係作りに努めている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	相談を受けた時点で訪問し、困っていること、不安、生活歴などの把握をしている。なるべく事業所を見学してもらい、不安の無いような関わりを充分配慮し、情報を職員が周知し本人の好むことへの提供を心掛け、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	理念である、一緒に、のんびり、楽しみのある生活を心掛け、利用者から魚の下ろし方や縫い物を教えて頂いたり、麻雀や将棋、花札などの趣味を通じて本人から学んだり、支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式を活用しながら、日常生活の中で職員は表情や会話から利用者の希望や意向の把握に努め、生活歴や家族の希望や意向も踏まえて、情報を職員間で共有し、安心して楽しみを持ちながら本人本位に暮らせるように支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族の訪問時に希望や意向を聴取し、担当者がカンファレンスまでにアセスメントシートを書き介護支援専門員と介護計画の打ち合わせをしている。カンファレンスでは他職員や必要に応じて作業療法士、医師などの意見も取り入れて介護計画を作成している。介護計画の期間については個別に設定している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間に応じての見直し以外にも、記録や担当者及び他職員の気づきをもとに話し合い現状に即した介護計画の見直しが行われている。又、状態の変化があった場合は、都度、見直しを行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況に応じて通院の支援や同法人の通所リハビリでパワーリハビリを週1回行っている。本人の希望や要望がある場合、買い物、散歩、気晴らしのドライブ等、なるべく本人の希望が実現できるように支援している。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	日曜、祭日以外は毎日、母体法人の院長が往診を行い、利用者、家族の希望や要望に応じて適切な医療が受けられるよう支援されている。又、必要に応じてご家族に本人の健康状態の説明も行われており、気軽に相談できる関係を築いている。		
19	47	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、母体法人の医療機関と連携して利用者・家族とも早い段階から話し合いをしながら慎重に対応するよう全職員で方針を共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○ プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は常に利用者の尊厳と誇りを損ねないような対応を心掛け、個々の対応が誇りやプライバシーに配慮したものになっているかを確認する話し合いが日々持たれている。又、記録の扱いについても、十分に注意している。		
21	52	○ 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の希望や思いを尊重し、買い物や調理や食事の準備など、その日の本人の希望や体調に配慮して促しており、入浴や食事の時間など出来る限り本人の希望やペースに沿って過ごせるように支援している。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と一緒に準備、食事、片付けを行っている。定期的に利用者に好みや希望を聞き、メニューに反映させており、回転寿司やそば屋さん等の外食の支援や食事を楽しめるように取り組んでいる。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	できる限り利用者の希望の時間に入浴できるように支援している。又、気の合う利用者同士背中を流しあったり職員が介助をしながらお話をしたり入浴剤を入れるなど入浴が楽しめるように工夫している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かした役割として、牛乳パック切りや食事の準備、後片付け、花壇や畑の作業、編み物や麻雀、将棋、俳句などの趣味を楽しんでもらえるように支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日々の散歩や買い物の他、隣接している東屋での外気浴、外に設置したベンチでの茶話会、昼食など要望に添えるように支援している。又、地元の観光地へのドライブや町のカキ祭りやさくら祭り、文化祭の参加も積極的に取り組んでいる。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	立地のことなどを配慮し鍵をかけている時間もあるが、利用者が出かけたいという希望等には添えるようにしている。今後も話し合いをしながら解錠に向けて検討していこうとしている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防火管理者が設置され、年2回、実技を伴う避難訓練を実施している。災害時の集合場所なども決められている。今後も日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけ地域との連携を図りながら実施して行くように努めている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	具体的な食事摂取量、水分量が記録され毎日必ずチェックし、栄養バランスやカロリーについても月3回ほど管理栄養士のアドバイスをもらっている。又、一人ひとりの健康状態に合わせた量や調理の工夫がなされている。		
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は、広く、ゆったりとしており、畳の部屋では、切り絵や手芸、囲碁などの趣味事が行えるスペースが確保され、壁には利用者の手芸や習字の作品や利用者が作った俳句や職員と一緒に作った季節のタペストリーなどが飾られており、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者や家族と相談しながら、なじみのある使い慣れたタンスや家具、懐かしい起き上がりこぼしやお孫さんやひ孫さん等の家族の写真などを持ち込まれ、居心地のよい部屋になるよう工夫している。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。